

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プラン の推進状況について（令和3年上半期）

1 要旨・目的

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プランの推進状況（令和3年上半期）について報告するもの

2 現状・背景

「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の推進に当たり、取組の方向性や施策の方針を示す行動指針としてアクション・プランを策定

平成15年の第1期アクション・プランの策定以降、昨年まで4期18年にわたって継続しており、本年から第5期を展開中

【第5期アクション・プランの運動目標及び重点項目】

○ 運動目標

住む人来る人誰もが日本一の安全安心を実感できる広島県の実現

○ 重点項目

- ・ 不安に感じる犯罪の抑止
- ・ 子供・女性・高齢者等の安全確保
- ・ 特殊詐欺被害の抑止
- ・ インターネット利用犯罪被害の防止

3 概要

(1) 調査対象

—

(2) 調査期間

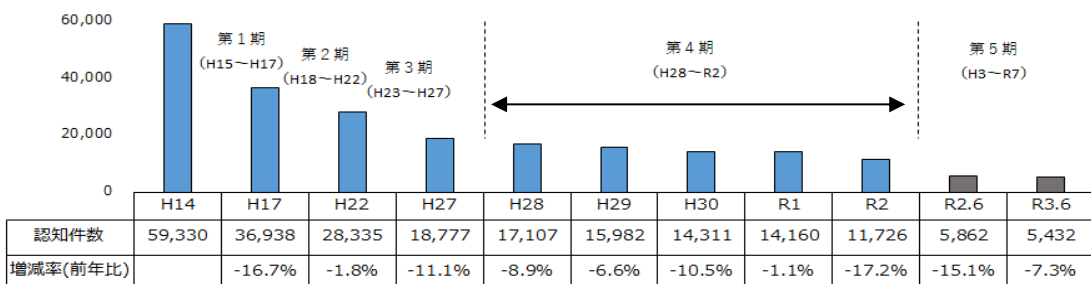
令和3年上半期

(3) 調査結果

ア 運動目標の推進指標

(ア) 刑法犯認知件数【指標：12,000件以下】

5,432件(前年同期比-430件, -7.3%)



減少犯罪 ①自転車盗(-302件)②器物損壊等(-62件)③空き巣(-44件)
増加犯罪 ①万引き(+98件) ②暴行(+62件) ③払出盗(+34件)

(イ) 治安良好と感じる人の割合【指標：90%以上】

	R2	H29	前回比
治安良好と感じる人の割合	86.9%	85.3%	+1.6ポイント

イ 重点項目の取組指標

(ア) 不安を感じる犯罪（8罪種）の認知件数【指標：5,500件以下】

	R3.6月末	R2.6月末	前年同期比
認知件数	2,168件	2,649件	-481件(-18.2%)

- 自転車盗(-302件), 侵入窃盗(-65件), 器物損壊等(-62件)が大きく減少
※不安を感じる犯罪～自転車盗, 車上ねらい, 器物損壊等, 侵入強盗, 侵入窃盗, 住居侵入, 強制性交等, 強制わいせつの8罪種

(イ) 子供・女性・高齢者が被害者となる犯罪の認知件数【指標：4,800件以下】

	R3.6月末	R2.6月末	前年同期比
認知件数	2,065件	2,342件	-277件(-11.8%)

- 子供, 女性, 高齢者すべてで被害が減少

(ウ) 特殊詐欺の年間被害総額【指標：2億円以下】

a 特殊詐欺の認知件数

	R3.6月末	R2.6月末	前年同期比
認知件数	98件	77件	+21件(+27.3%)
被害総額	約1億8,393万円	約1億0,748万円	+約7,645万円(+71.1%)

b 特殊詐欺の水際阻止状況

	R3.6月末	R2.6月末	前年同期比
阻止件数	172件	93件	+79件(+84.9%)
阻止額	約1億1,644万円	約3,466万円	+約8,177万円(+236.0%)

(エ) インターネット利用犯罪被害の防止

フィルタリング（スマートフォン）の使用率【指標：37%以上】

令和2年度 33.0%

※当県における「子ども・若者育成支援推進法に基づく対応方針」で定めている指標を引用

(4) 今後の対応

- ア 自治体等の関係機関・団体やボランティア等と連携した各種防犯活動の推進
- イ 犯罪被害抑止に資する情報発信, 広報啓発の推進及び防犯カメラの設置促進
特に, 特殊詐欺被害抑止に向けた高齢者等に対する広報啓発活動等の推進
- ウ 検挙活動の更なる強化

4 その他

広島県警察ホームページリンク先（第5期ひろしまアクション・プランの概要）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police8/041-herasou-plan5-plan5.html>